

荷物

先日仕事から家に帰ると、身に覚えのない大きな荷物が届いていました。宛先を見てみると、住所は家の住所にもかかわらず、知らない人の名前が書いてありました。『なぜ?』と動揺しつつ、もう一度住所を確認すると、番地の次の番号が1つだけ違いました。似ている住所の荷物を配達員が間違えて家に持って来て、家族が何の疑いもなく受け取ってしまったようでした。

すぐにお客様センターに連絡をし、荷物を取りに来てもらい、事なきを得ました。取りにきた配達員はとても申し訳なさそうに謝り、足早に帰って行きました。

人ですから間違えてしまうことはあります。しかし、1つの数字の間違いが、大きな間違いになることもあります。配達員が荷物を渡すときに名前を確認していれば、家族が受け取るときに伝票の名前を確認していれば、荷物は受け取ることはなく、ミスは最小限に抑えることができましたでしょう。私も人を相手に仕事をしています。『他人事ではない。何事にも最終チェックは大切。私も気を付けないと。』と気が引き締まる出来事でした。(2021年3月)

